

2018年9月20日

AGC、動物細胞を用いた cGMP 対応バイオ医薬品開発・製造受託設備を 千葉工場に新設

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、2017年に買収したCMC Biologics社の技術を導入し、動物細胞を用いたcGMP^{*1} 対応バイオ医薬品（抗体医薬品等）開発・製造受託設備を、千葉工場に新設することを決定しました。これにより日本で初めて、米国・欧州で実績のある動物細胞を用いた高水準の品質・サービスを提供することが可能となります。現在海外での生産が中心となっているバイオ医薬品について、国内での受託体制を構築することで、日本を中心としたお客様との関係強化を図ります。本設備は2019年第3四半期より稼働を開始する予定です。

AGCは、1985年にバイオサイエンス事業を発足、2000年よりバイオ医薬品 CDMO^{*2} 事業を開始し、主に日本で微生物を用いたバイオ医薬品 CDMO 事業を行ってきました。2016年に Biomeva 社を、2017年に CMC Biologics 社をそれぞれ買収し、微生物だけではなく動物細胞も用いた米国・欧州でのバイオ医薬品 CDMO 市場に本格参入しました。そして2018年1月より日本・米国・欧州それぞれの拠点ごとに展開していたバイオ医薬品 CDMO 事業を統合し、AGC Biologicsとしてのグローバル一体運営を開始しています。

AGC グループは経営方針 **AGC plus** の下、ライフサイエンス事業を戦略事業のひとつと位置付けています。今後も大きな需要の伸びが見込まれる合成医薬品・バイオ医薬品事業において、各地域のお客様にグローバルで統一された高水準の品質・サービスを継続して提供出来る様、積極的な設備投資を実施していきます。また各拠点のシナジーを最大限発揮することで技術力を向上させ、製薬会社、患者様、そして社会に貢献していきます。

以上

<注釈>

*1 cGMP: 医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (current Good Manufacturing Practice)

*2 CDMO: 製造受託に加え、製造方法の開発を受託・代行する会社 (Contract Development & Manufacturing Organization)

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

(担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

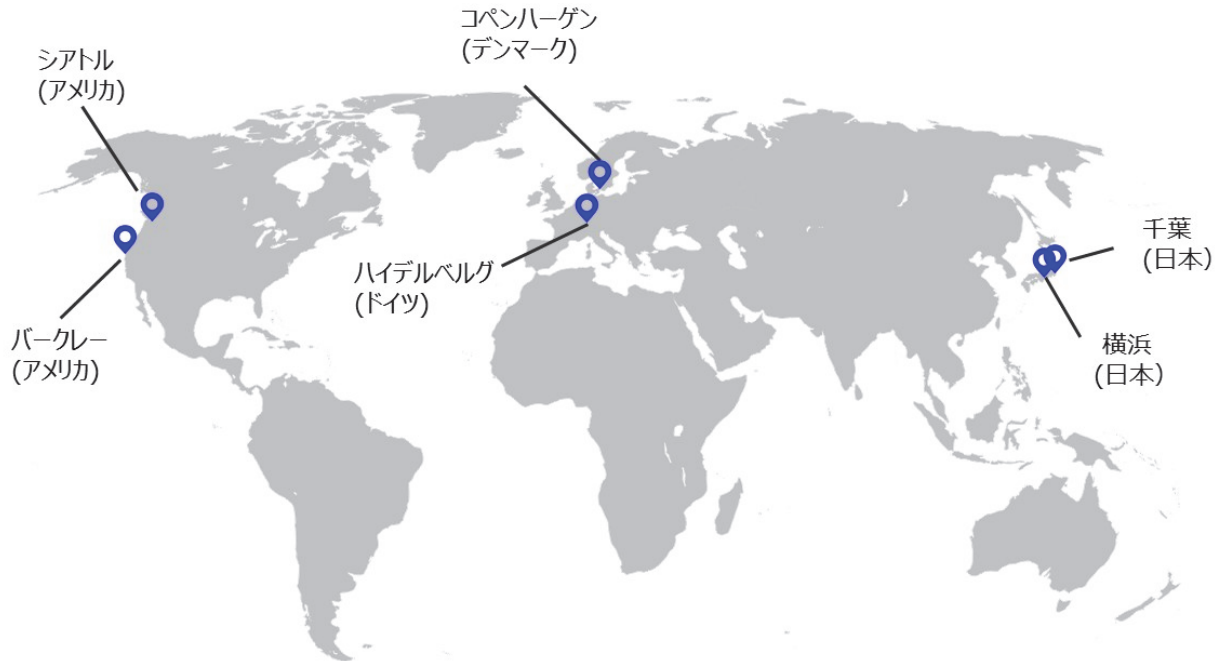
*当社は2018年7月1日より旭硝子株式会社からAGC株式会社へ社名を変更しました。

*個人情報情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。

<ご参考>

■AGC グループのバイオサイエンス事業拠点■

当社のバイオサイエンス事業拠点は以下の通りです。



■当社ライフサイエンス事業に関して■

今回の動物細胞開発製造受託設備新設により、日本・アジア地域で動物細胞を用いた CDMO 事業を開始します。



◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 株式会社 広報・IR 部長 玉城 和美

(担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

*当社は 2018 年 7 月 1 日より旭硝子株式会社から AGC 株式会社へ社名を変更しました。

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。